

予防接種について

《 ジフテリア・百日せき・不活化ポリオ・破傷風(DPT-IPV)第1期 》

金沢市の乳幼児期に受ける定期予防接種

(2020年10月1日現在)

乳幼児期の予防接種		受ける時期と接種回数	ワクチン種別
ロタウイルス	ロタリックス	出生6週0日後から24週0日後まで(初回接種については、標準として生後2か月から出生14週6日後まで)に27日以上の間隔をおいて2回経口投与	生ワクチン(経口)
	ロタテック	出生6週0日後から32週0日後まで(初回接種については、標準として生後2か月から出生14週6日後まで)に27日以上の間隔をおいて3回経口投与	
Hib (インフルエンザ菌b型)	初回	【標準的な接種パターン】 生後2か月～7か月の前日までに接種開始の場合 初回: 27日(医師が認める場合は20日)以上(標準として27日～56日)の間隔をあけて3回接種(生後12か月の前日までに完了) 追加: 初回3回終了後、7か月以上(標準として7か月～13か月)あけて1回接種(注)	不活化ワクチン
	追加	【標準的な接種パターン以外の場合】 ①生後7か月～1歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 初回: 27日(医師が認める場合は20日)以上(標準として27日～56日)の間隔をあけて2回接種(生後12か月の前日までに完了) 追加: 初回2回終了後、7か月以上(標準として7か月～13か月)あけて1回接種(注) ②1歳の誕生日～5歳の誕生日の前日までに接種開始の場合: 1回接種	
小児用肺炎球菌	初回	【標準的な接種パターン】 生後2か月～7か月の前日までに接種開始の場合 初回: 27日以上の間隔をあけて3回接種(生後24か月(標準として生後12か月)の前日までに完了) 追加: 初回3回終了後60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に(生後12か月～15か月の前日までを標準的接種期間として)1回接種(注)	不活化ワクチン
	追加	【標準的な接種パターン以外の場合】 ①生後7か月～1歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 初回: 27日以上の間隔をあけて2回接種(生後24か月(標準として生後12か月)の前日までに完了) 追加: 初回2回終了後60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に1回接種(注) ②1歳の誕生日～2歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 60日以上の間隔をあけて2回接種 ③2歳の誕生日～5歳の誕生日の前日までに接種開始の場合: 1回接種	
B型肝炎		1歳の誕生日の前日までに(標準として生後2か月～9か月になるまでに)に27日以上の間隔をおいて2回接種した後、1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回接種	不活化ワクチン
ジフテリア 百日せき 不活化ポリオ 破傷風 (DPT-IPV)	1期初回	生後3か月～90か月(7歳6か月)の前日までに 初回: 20日以上(標準として20日～56日)の間隔をあけて3回接種 追加: 1期初回(3回)終了後、6か月以上(標準として1年～1年半)あけて1回接種	不活化ワクチン
	1期追加		
BCG		1歳の誕生日の前日までに(標準として生後5か月～8か月になるまでに)に1回接種	生ワクチン
麻しん 風しん (MR)	1期	生後12か月～24か月(2歳の誕生日の前日)までに1回接種	生ワクチン
	2期	小学校就学前1年間(幼稚園等の年長さん相当の年齢)にある間に1回接種 ※別途個別に通知します。	
水痘		生後12か月～36か月(3歳の誕生日の前日)までに3か月以上(標準として6か月から12か月まで)の間隔をあけて2回接種 ※1回目の標準的な期間は、生後12か月から生後15か月になるまでです。	生ワクチン
日本脳炎	1期初回	生後36か月(3歳※)～90か月(7歳6か月)の前日までに ※標準的な接種開始時期は3歳です。生後6か月から接種可能です。 初回: 6日以上(標準として6日～28日)の間隔をあけて2回接種 追加: 1期初回(2回)終了後、6か月以上(標準としておおむね1年)あけて1回接種	不活化ワクチン
	1期追加		

(注) Hibワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンは、接種開始年齢等によって接種回数が異なります。接種回数、間隔などは接種医とよくご相談ください。その他、任意予防接種として、おたふくかぜ、インフルエンザなどがあります。

周知方法

個別通知

接種場所

予防接種協力医療機関

接種時期

通年

ジフテリアとは？

ジフテリア菌の飛沫感染(のど、鼻)で起こります。無症状の保菌者から感染することもあります。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などです。窒息死や菌からの毒素で心筋障害や神経麻痺を起こすこともあります。

破傷風とは？

土の中にいる破傷風菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体内で増えるとその毒素によって口が開かなくなったり、けいれんを起こしたり、死亡することもあります。土中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。

百日せきとは？

百日せき菌の飛沫感染で起こります。普通のかぜのような症状からせきがひどくなり、笛を吹くような音が出ます。乳幼児はせきで呼吸ができず、唇が青くなったり、けいれんが起こることもあります。肺炎や脳症などの合併症を起こしたり、乳児では死亡することもあります。

ポリオとは？

ポリオ(急性灰白髄炎)は「小児まひ」と呼ばれます。口の中から入ったポリオウイルスが咽頭や小腸の細胞で増え、便の中に排出されて他の人に感染していきます。感染者のほとんどは無症状ですが、約1000～2000人に1人の割合で手足の麻痺があらわれます。一部の人には、その麻痺は一生残ります。

ジフテリア・百日せき・不活化ポリオ・破傷風混合(DPT-IPV)ワクチン

第1期として20日以上(標準として20日～56日)の間隔をあけて初回3回接種後、6か月以上(標準として1年～1年半)の間隔をあけて追加を1回接種します。
第2期として小学校6年生時にDT(ジフテリア・破傷風)二種混合ワクチンを1回接種します。

DPT-IPV ワクチンの副反応

接種部位の発赤、しこり、はれ、発熱が主な副反応です。しこりは少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。
重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、はれが目立つときなどは医師にご相談ください。